

2018年10月31日

大分大学前駅、敷戸駅が「スマートサポートステーション」に変わります

2018年3月17日（土）より、牧駅、幸崎駅、滝尾駅を「スマートサポートステーション」として新しい駅サービスを開始致しました。大分大学前駅、敷戸駅の導入時期については2018年秋頃とお知らせをしておりましたが、この度、正式に導入日が決定いたしましたのでお知らせいたします。

1 「スマートサポートステーション」の概要

導入する駅には、カメラやインターホンを設置し、始発列車から最終列車までの間を「サポートセンター」のオペレーターがカメラを通じてお客さまの安全を見守り、ご案内等を行います。

また、駅係員は常駐しませんが、介助の必要なお客さまの列車への乗降のお手伝いや駅でのトラブルが発生した際、迅速にサポートスタッフを派遣し駅でご対応するほか、1日1回以上の巡回及び清掃等を行い、引き続き安心して駅をご利用いただけるよう努めてまいります。

<主な駅設備>

監視カメラ（※）、インターホン（※）、自動券売機、IC改札機、係員対応精算機（※）、列車接近放送装置
※新設する設備

2 導入日と導入駅

導入日	線区名及び駅名	サポートセンター
2018年12月1日（土）	豊肥本線 大分大学前駅	大分駅構内
	豊肥本線 敷戸駅	

※日豊本線の牧駅、幸崎駅、豊肥本線の滝尾駅については、2018年3月17日に導入済み

3 その他

- 2018年11月1日から導入日までの間、上記の2駅に「スマートサポートステーションお知らせコーナー」を設置し、駅係員等よりご利用方法の説明及びご要望等を承ります。ご不明な点は駅係員にお尋ねください。
- 今後のスマートサポートステーションの導入については、ご利用状況等を勘案して、引き続き検討してまいります。